

# 【技術・家庭(技術分野)・中2・「生物育成の技術による問題解決」】①

## 育成を目指す資質・能力

(知識・技能) 安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる。

(思・判・表) 問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。

(学びに向かう力、人間性等) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとする実践的な態度。

## ICT活用のポイント

個々で見つけた問題を、デジタルホワイトボードを使って可視化・整理することで、解決できそうな単元の課題を話し合っ設定する。

### 事例の概要

#### 【つかむ】

生物育成によって解決できる問題を見つけ、解決するための課題を設定する。

#### 【追究する】

課題解決に向けた育成計画の立案、管理作業、栽培記録、計画の修正を行う。

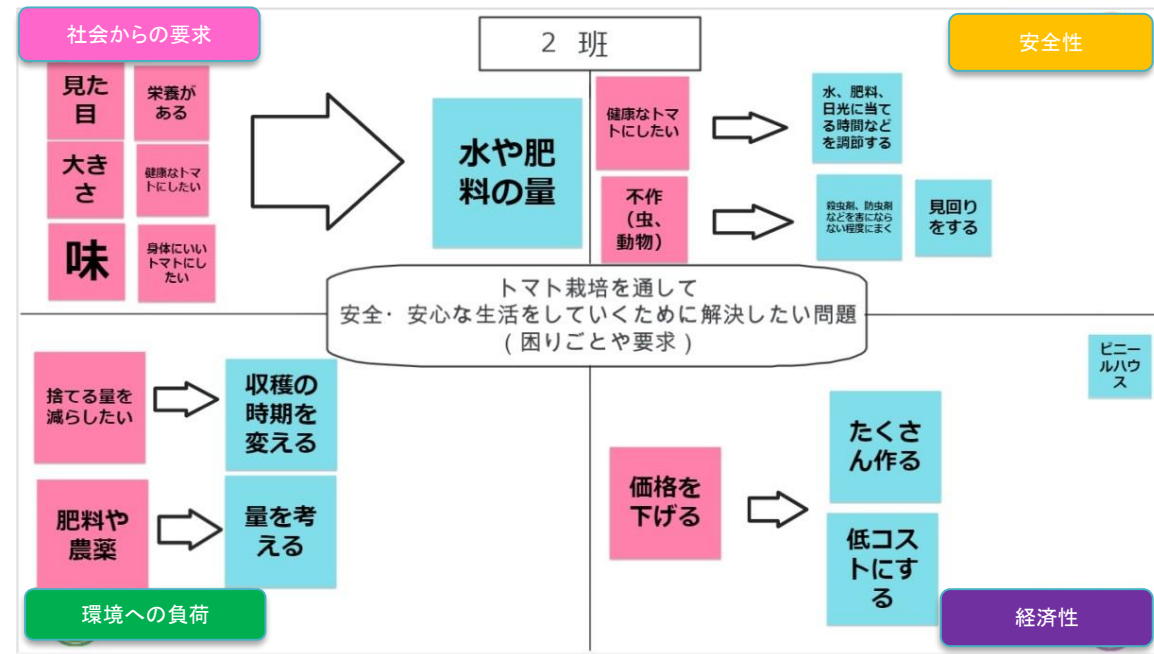
#### 【まとめる】

生物育成の技術による問題解決を振り返り、結果及び過程を評価し、改善・修正の方法について考える。

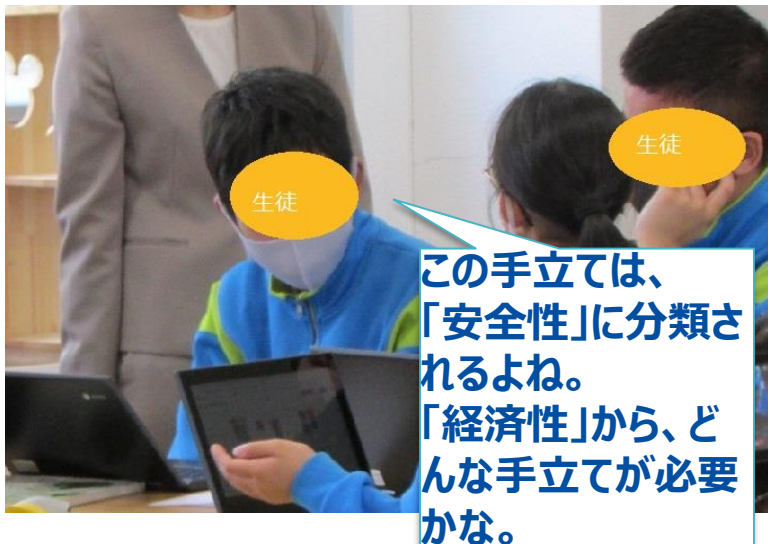
- デジタルホワイトボードの付箋機能を活用し、個人で考えた「解決したい問題」を「技術の見方・考え方」の4つの視点に分けて考える。
- デジタルホワイトボードの共同編集機能を活用し、個人の考えを共有しながら分類を進める。
- 表計算ソフトの共同編集機能を活用し、各自の振り返りを入力する。友達の気付きも参考にしながら、自らの学びを自覚、蓄積する。

# 【技術・家庭(技術分野)・中2・「生物育成の技術による問題解決」】②

## 【事例におけるICT活用の場面①】



## 【事例におけるICT活用の場面②】



- デジタルホワイトボードを活用して、付箋をマトリックス図に分類、可視化する。技術の見方・考え方の4つの視点（社会からの要求・安全性・環境への負荷・経済性）からバランスよく考えを出せるようになる。
- 各班が作成したマトリックス図も閲覧可能にすることで、他班の考えも参考にして、課題に対する解決策を多面的に話し合えるようになる。
- 表計算ソフトの共同編集機能を活用し、一人一人の振り返りを全員で共有する。学びを蓄積するだけでなく、友達の振り返りの記述に対して質問することで、新たな気付きや、思考の深まりが生まれた。

【活用したソフトや機能】

「学習支援ソフト」「デジタルホワイトボード」「表計算ソフト」「大型提示装置」